

令和6年3月22日



一年間、ありがとうございました

みかわ すみよ
稲沢北小学校長 三川 純代

3月19日（火）、穏やかな春の日、6年生44名が揃って卒業しました。卒業証書授与の際のしっかりとした返事、別れの言葉の際の心のこもった呼びかけや合唱は、本当に感動しました。卒業生の皆さんは、いつも穏やかで、仲の良い学年、下級生にも優しく寄り添う素敵な子どもたちでした。式辞の中で、子どもたちには、「人との出会いは宝物だ」と伝えました。これから先の未来、子どもたちには多くの出会いが待っています。そして、多くの人と関わって生きていきます。出会う人とのつながりをしっかりと築き、どんな出会いも「宝物」にしてほしいと伝えました。「宝物」にできるかどうかは、その出会いを、自分がどう受け止めるかだと思います。そのためには、いつも相手のことを思う「思いやりの心」と「感謝」の気持ちを忘れないでほしいものです。そして、人との関わりを大切に思う心が、互いに支え合う関係をより豊かにし、子どもたちの輝かしい未来への道を拓いてくれるのだと信じています。

そして、3月22日（金）は、1～5年の児童全員が体育館に集まり、修了式を行いました。5年生から学年ごとに修了証の授与を行いました。どの学年も、年度当初より、ぐんと成長した姿が見られました。特に4・5年生の皆さんは、卒業式に参列したこともあり、起立や着席、礼など、すべてにおいて、きびきびとした動きが印象的でした。卒業生からのバトンをしっかりと引き継いでくれ、大変嬉しく思いました。修了式の式辞の中では、機会あるごとに伝えてきた「成功はなくても成長がある」について、もう一度話しました。すぐに結果として表れなくても、自分の目標に向かって地道に努力を続けていれば、必ず成長し、前に進むことができます。歩みのスピードは違っても、子どもたち一人一人が前へ前へと進んでほしいと願っています。

2023年度、保護者の皆様、地域の皆様には、さまざまな場面で、本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援をいただきました。本当に、ありがとうございました。

2024年度も、稲沢北小学校の教職員一同、力を尽くしてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。





令和6年1月9日

「子どもたちの成長を願って…」

みかわ すみよ
稲沢北小学校長 三川 純代

旧年中、保護者や地域の皆様には、稲沢北小学校の教育活動に対しまして、深いご理解と温かいご協力を賜り、ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。本年も、何卒よろしく願いいたします。

本日、3学期始業式を行いました。今回の始業式もオンラインで行いました。画面越しではありますが、子どもたちは、各教室で落ち着いた様子で3学期をスタートさせることができました。始業式では、子どもたちに、今あるこの生活を当たり前のことだと思わず、感謝の気持ちを忘れず、日々大切に過ごしてほしい、そして、目の前のことに一生懸命取り組んでほしいと伝えました。日本では、年始めから大きな災害や事故に見舞われ、毎日のように辛く悲しいニュースを目にしています。とりわけ、能登半島を襲った大地震では、今もなお、救出されていない方、避難所で不自由な生活を余儀なくされている方がたくさんいらっしゃいます。子どもたちには、そんな現状から目を背けず、私たちが今すべきことを考え、行動に移してほしいと思います。今年度も残すところ3か月。引き続き、子どもたちが学びを重ねてくれるよう願っています。

さて、今年の干支は、『甲辰（きのえたつ）』

みなさんご存知の通り、干支は、十干（じっかん）と十二支（じゅうにし）を組み合わせたもので、60通りあります。60年に一度巡ってくる今年の干支は、甲辰。甲辰の『甲（きのえ）』は、十干の最初にあたり、硬い種から芽吹くということで、物事の最初であり、始まりを意味しているそうです。『辰（たつ）』は、いろいろなものが整って勢力が振るう年になると言われています。つまり、『甲辰』の年は、これまでのコツコツと蓄えられた学びが芽を出し、活力に満ちた草木のようにすくと伸びて、努力が花を咲かせると言われているそうです。

2024年が、子どもたちにとって、日々の努力が実を結び、大きく成長し、そして、それを実感できる一年になってほしいと、心より願っています。

今後も、子どもたちの成長に関わることが出来る喜びを胸に、教職員一同教育活動に取り組みたいと思います。

保護者、地域の皆様におかれましては、今後とも稲沢北小学校の教育活動に対しまして、これまで以上のご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。





令和5年10月3日（火）

「他者を意識する」

稲沢北小学校長 みかわ すみよ
三川 純代

先週までの暑さが嘘のように、日中でも秋を感じられる爽やかな日が続いています。早いもので、令和5年度も折り返しの時期です。

さて、今年度の稲北運動会は、延期のため平日開催となりましたが、多くの保護者や地域の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。全校児童が一堂に会して運動会を実施するようになり、2年目となりました。今年の運動会でも、子どもたちは、「自分のために」「仲間のために」「稲北小のために」全力を尽くし、真剣な表情で取り組む姿、笑顔で頑張る姿を見せてくれました。学年を超え、子どもたちは、互いの姿に心動かされたに違いありません。ご覧いただいた皆様は、どのように感じられたでしょうか。私は、行事をきっかけに成長する子どもたちの姿に、頼もしさを感じました。

2学期の始業式では、子どもたちに「周りの人を意識しよう」という話をしました。学校生活は、多くの人と関わり、協力をすることが必要不可欠です。特に、2学期には様々な行事が控えており、それらの行事は、互いの協力なしでは成し遂げられません。そして、協力をすることは、周りの人の思いや状況を意識しないとできないというわけです。

今、世の中は、個の特性や考えを大切にする時代です。もちろん、自分の思いや考えをもつということは大切です。自分の思いや考えがなければ、主体的に動くことはできませんし、生き生きとした毎日を過ごすことはできないでしょう。しかし、それだけでは、豊かな学校生活を送ることは難しいと思います。それぞれが自分の思いだけを口にして、押し通してしまえば、稲北っ子はバラバラになってしまいます。そんな淋しいことはありません。

子どもたちには、周りの様子に目を向け、相手の思いや考えに耳を傾けたり、想像したりして…互いを気遣い、互いを認め合う、そんな子どもたちに育ってほしいと願っています。

今後とも稲沢北小学校の教育活動に対しまして、これまで以上のご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

令和5年4月27日(木)



「元気な声と、笑顔あふれる学校」を目指して

みかわ すみよ
稲沢北小学校長 三川 純代

4月6日、保護者、6年生、教職員に見守られる中、入学式が執り行われました。新1年生54名の子どもたちは、どの子も背筋をピンとさせ、少し緊張した面持ちで式に臨み、自分の名前が呼ばれると、元気な声で「はい！」と返事をしてくれました。令和5年度は、14学級、329名でのスタートです。

本校では、今年度も「元気な声と、笑顔があふれる学校」を目指し、「明るく、元気で、自分の考えをもち、自他を大切にできる児童」の育成を目指して教育活動を進めて参ります。

年度始めに、教職員に伝えたことがあります。それは、子どもたちの「引き出し」を増やしてほしいということです。この「引き出し」は、経験とそこから学んだ考えという意味です。大人になってから分かることですが、何か事を成し遂げようとするとき、あるいは、何か問題が起きたときなど、私たちは、これまでの経験やそこから学んだ考え、身に付けた知識などを駆使して、どう取り組むとよいのだろうか、どう対処したらよいのだろうかと考え、実行に移しています。私たち大人にも小学生の時代があり、誰もが、ちょっとしたことから大きな出来事まで、様々なことを経験してきました。それによって、いろいろなことを学び、こんな時はどうしたらいいだろう、こんな時はこうするといいいかな、こんな時はこう言った方がいいかな、など、様々なことに対応する力を身に付けてきたと思います。もちろん、机上の学習で覚えたこともあります。でも、実際に経験したことの方が、圧倒的に強く残っていると思います。

小学生の子どもたちは、まさに成長の途中です。私たち大人が、いろいろなことを、合理的に、効率的に行おうと思えば、ルールを敷いて、そこからはみ出ないように、与えたり教え込んだりすればよいわけですが…それでは、自分で考える力を奪ってしまいます。今は小学生ですから守られることが多いことでしょう。しかし、いずれ思春期、大人になって、自分自身の力で歩いていかななくてはなりません。今は、まさに、いろいろな経験を積んで、考えて、自分の「引き出し」を増やしている、そんなときだと思えます。これから待ち受けるさまざまな課題を乗り越えたり、回避したりするため、「引き出し」を増やしている真っ只中なのです。大人の都合で、「引き出し」を増やす機会を奪うことがないように、子どもたちには、いろいろなことを体験させたいと思っています。成功体験はあった方がいいに決まっています。でも、失敗体験もあった方がいいと思えます。私たちは、失敗から学ぶこともたくさんあったと思うので。

ぜひ、温かい目で見守っていただき、稲北っ子の成長を支えていただけたらと思います。もちろん、子どもたちには、大人として教えなければならないことはたくさんあります。しかし、初めから答えを教えるのではなく、考えさせ、一緒に悩んでいただけたらと思います。そして、前を向いて歩いていけるよう、アドバイスをいただけたら幸いです。

私たち教職員も、子どもたちに寄り添い、共に考えることを大切にしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

今後とも稲沢北小学校の教育活動に対しまして、これまで以上のご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。